

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

第2章 対象計画の案の名称及び種類

名 称：多摩都市計画道路3・1・6号南多摩尾根幹線

(稲城市百村～多摩市聖ヶ丘五丁目間)建設事業

種 類：道路の新設及び改築

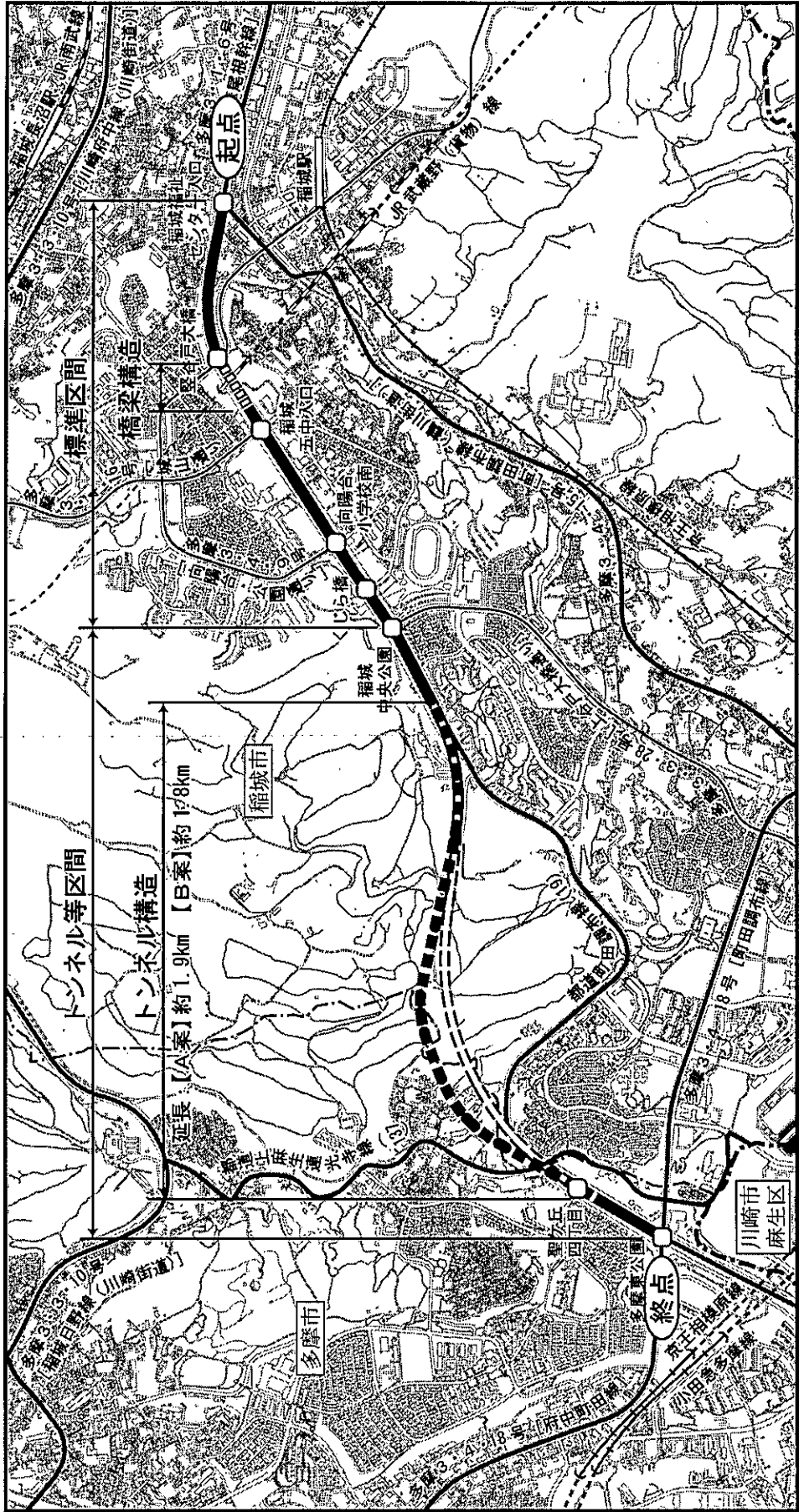
第3章 対象計画の案の内容の概略

本計画は、延長約16.6kmの多摩都市計画道路3・1・6号南多摩尾根幹線(図6.5-1(71ページ参照))のうち、東京都稲城市百村を起点とし、多摩市聖ヶ丘五丁目を終点とする延長約4.1km(以下「計画道路」といいます。)の区間において、平面構造、橋梁構造及びトンネル構造により、本線往復4車線の道路を整備するものです。

この計画について、トンネル等区間において、既定都市計画の位置とした案【A案】と、既定都市計画の位置より南側とした案【B案】の異なる複数の対象計画案を策定しました。

計画道路の位置は図3-1、複数の対象計画案の概要は表3-1に示すとおりです。

また、「複数の対象計画案」は、図3-2～図3-3に示すとおりです。



1:20,000

N 0 0.5 1km

図 3-1 計画道路の位置図

凡例	計画道路 (平面構造)	○	交差点
	計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))	—+—+—+—+—	○
	計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))	—+—+—+—+—	—+—+—+—+—
	計画道路 (橋梁構造)	—+—+—+—+—	—+—+—+—+—
	都県界	—+—+—+—+—	—+—+—+—+—
	市界	—+—+—+—+—	—+—+—+—+—
	道路 (主要地方道・一般都道)	—+—+—+—+—	—+—+—+—+—
	道路 (計画道路と交差する主な市道)	—+—+—+—+—	—+—+—+—+—

表 3-1(1) 複数の対象計画案の概要

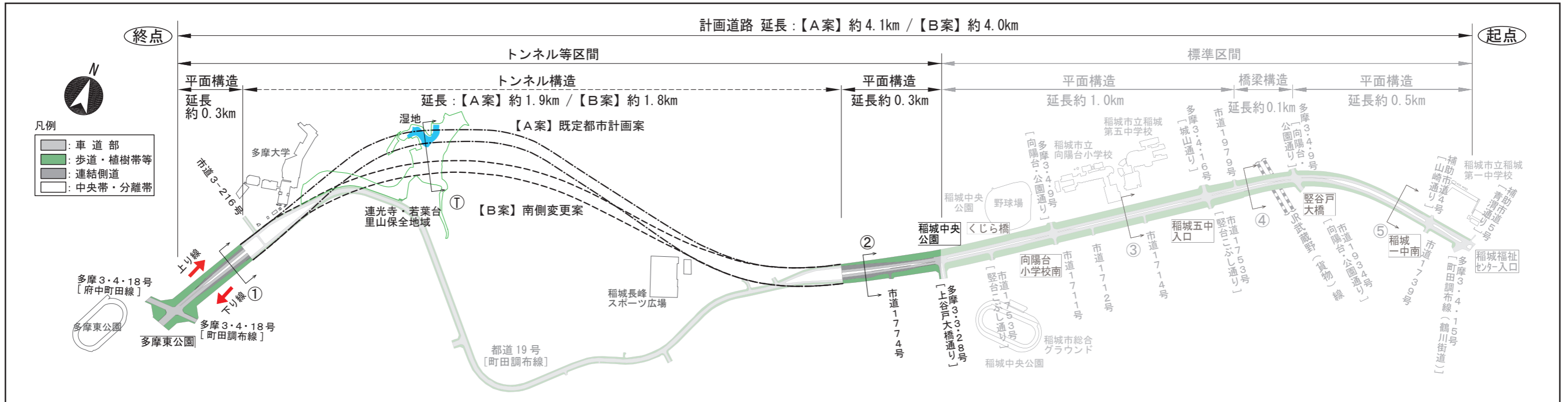
都市計画道路名	多摩都市計画道路 3・1・6 号南多摩尾根幹線			
対象とする延長及び区間	延長：【A案】約 4.1km 【B案】約 4.0km 起点：稲城市百村(稲城福祉センター入口交差点) 終点：多摩市聖ヶ丘五丁目(多摩東公園交差点)			
通過地域	稲城市、多摩市			
道路の区分	第4種第1級 ^{※1}			
車線数	本線往復4車線			
設計速度	60km/h			
道路構造	平面構造、橋梁構造及びトンネル構造			
複数の対象計画案	トンネル等区間			
	複 数 案	【A案】 既定都市計画案	【B案】 南側変更案	
	区 間	稲城中央公園交差点～多摩東公園交差点		
	延 長	約 2.5 km	約 2.4 km	
	ル ー ト	既定都市計画の位置	既定都市計画より南側の位置	
	道 路 構 造	平面構造、トンネル構造		
	幅 員	平面構造 (58.0m) トンネル構造 (車道 7.5m)		
	上下線の車道位置	平面構造：上下線を中央に集約 トンネル構造：上下線を分離		
	歩道・植樹帯等の幅員	片側 7.5m～9.5m [※]		
	遮 音 壁	車道の両側：0.0m～2.5m		
		注1) 車道は本線車道を示します。 注2) 図 3-2 の平面図及び横断図参照		
		※ 歩行者・自転車はトンネル構造の区間を通行できません。現道の都道町田調布線を通行します。		
		標準区間		
	区 間	稲城福祉センター入口交差点～稲城中央公園交差点		
延 長	約 1.6km			
道 路 構 造	平面構造 (延長約 1.5 km) 橋梁構造 (延長約 0.1 km)			
幅 員	平面構造 (36.0m～58.0m) 橋梁構造 (50.0m)			
上下線の車道位置	上下線を中央に集約			
歩道・植樹帯等の幅員	片側 4.5m～19.0m			
遮 音 壁	車道の両側：0.0m～1.5m、中央帯：0.0m～1.5m			
	注1) 車道は本線車道を示します。 注2) 図 3-3 の平面図及び横断図参照			

※1) 第4種第1級とは、道路構造令(昭和45年政令第320号)に定められた道路の区分です。

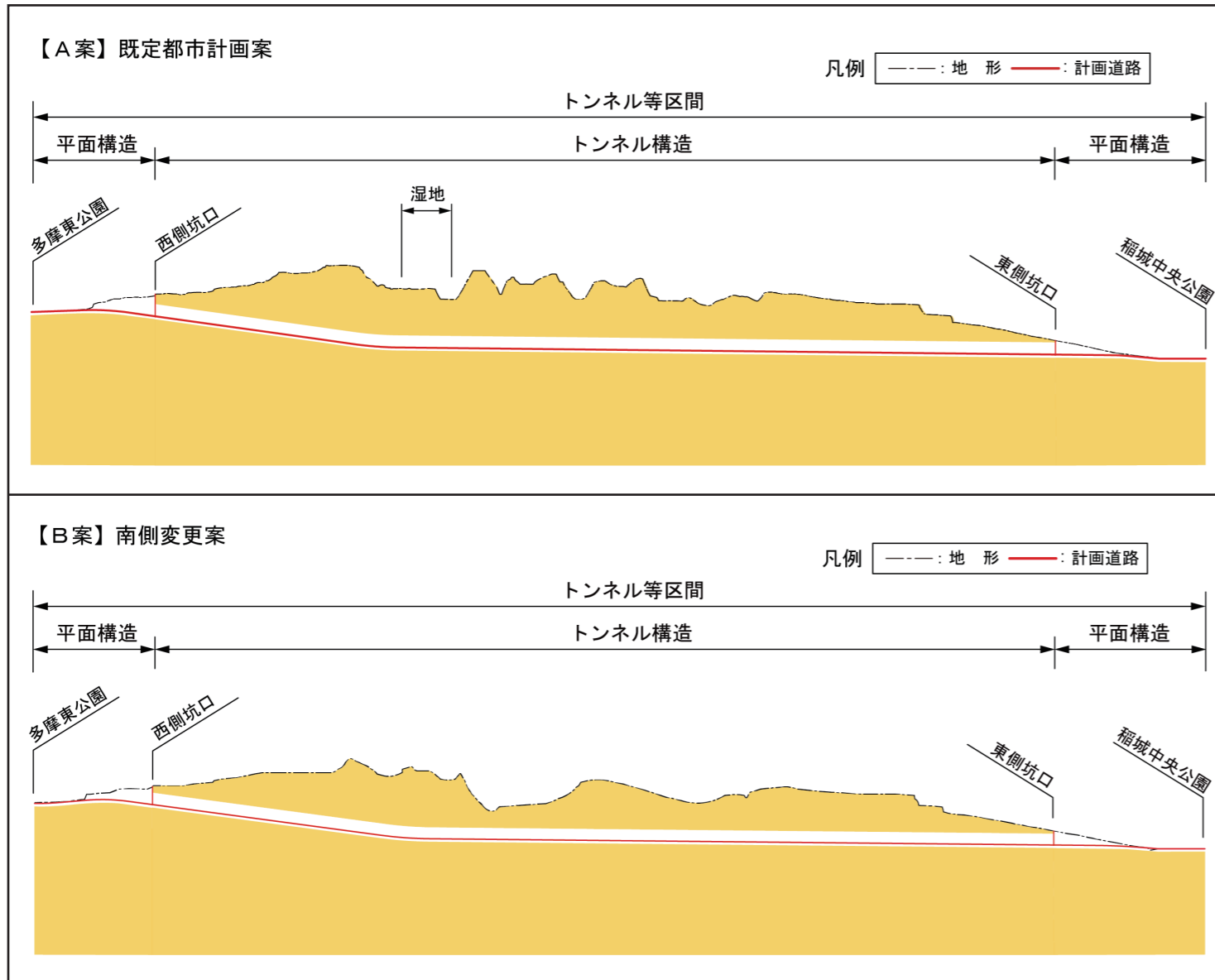
表 3-1 (2) 複数の対象計画案の概要

<p>主 要 の 交 通 差</p>	<p>【交差道路】 多摩 3・4・15号 [町田調布線] : 平面交差 多摩 3・4・9号 [向陽台・公園通り] : 平面交差 多摩 3・4・16号 [城山通り] : 平面交差 多摩 3・3・28号 [上谷戸大橋通り] : 平面交差 都道上麻生連光寺線 (137) : 立体交差 (計画道路はトンネル構造) 多摩 3・4・18号 [府中町田線・町田調布線] : 平面交差</p> <p>【交差鉄道】 JR武蔵野 (貨物) 線 : 立体交差 (計画道路は橋梁構造)</p>
<p>計 画 交 通 量</p>	<p>計画道路の供用時 : 25,400 台/日～43,400 台/日 道路ネットワークの整備完了時 : 23,500 台/日～43,100 台/日</p>
<p>供 用 開 始</p>	<p>令和 11 年度 (2029 年度) (予定)</p>
<p>工 事 期 間</p>	<p>令和 3 年度 (2021 年度) から令和 11 年度 (2029 年度) (予定)</p>

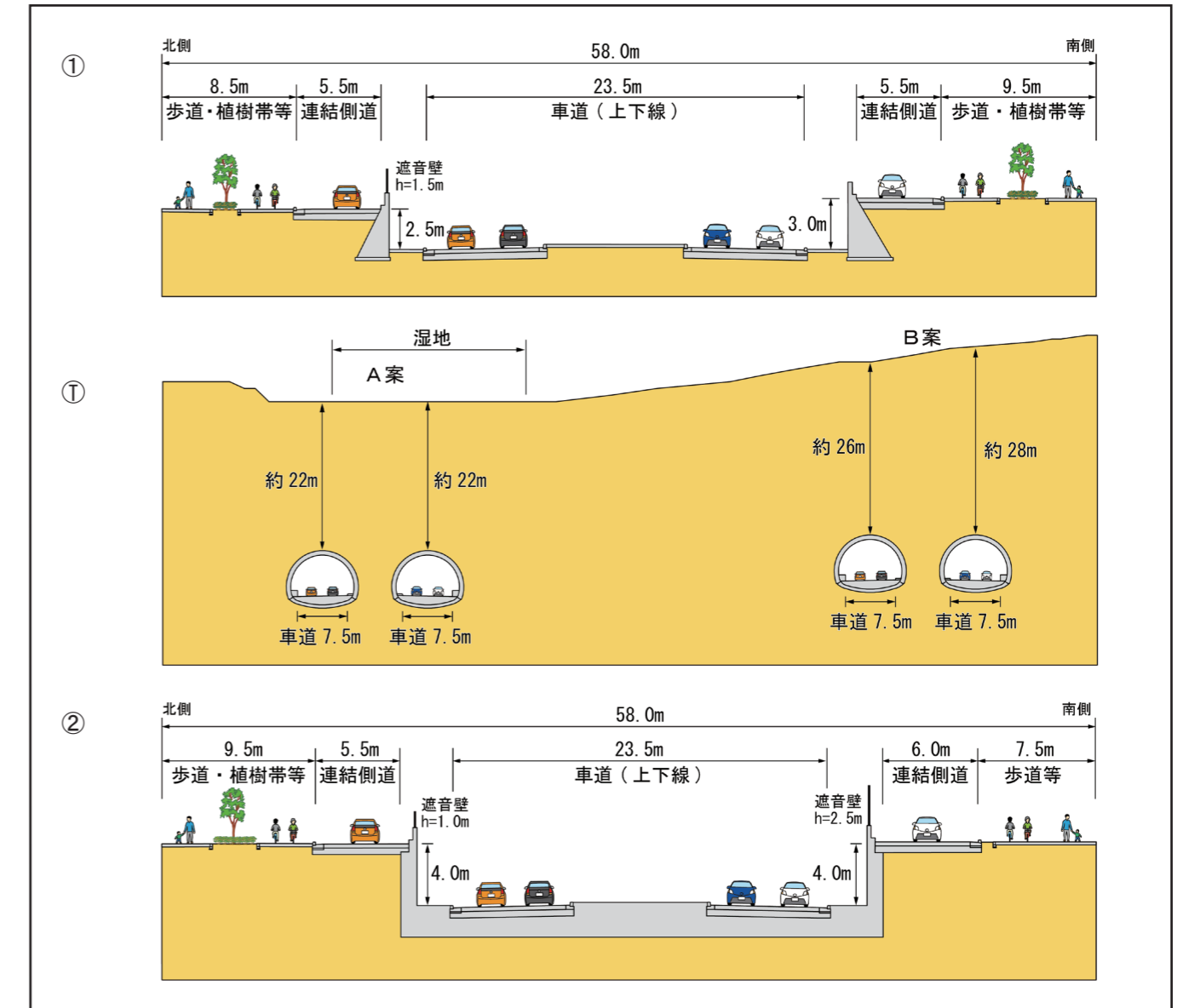
平面図



縦断面図



横断面図



注) 計画道路の幅員構成や整備形態については、今後、関係機関との調整により変更となる場合があります。

図 3-2 将来の計画道路概要図 (トンネル等区間)